

高知県立大学 (所在地：高知県)

事業名 リカバリーカレッジ高知による新たな共生の場づくり

事業の趣旨・目的

- ・ 障害がある人もない人も、いつからでも学びにアクセスできる場、「リカバリーカレッジ高知」を実施し、地域の中に共生社会を創出する。
- ・ 活動の全般に渡り、精神的な困難を抱えて生きてきたピアスタッフと専門職スタッフが共同創造を行う。
- ・ 上記を通して、学びを通じた共生のためのモデル化を試みる。

事業実施体制・連携先

- ・ 高知県立大学と一社)りぐらっぷ高知との連携により実施し、精神的な困難を抱えるスタッフ・講師と、医療や教育、福祉分野の専門職とが、対等な立場で共にカレッジを企画・運営している。
- ・ 連携協議会：高知県、高知県教育委員会、高知市保健所、障害当事者の会代表、精神障害者家族会連合会代表、専門職団体代表、大学教員等15名で構成

事業内容

- ・ プログラムはメンタルヘルスの向上や個々のリカバリー促進に関する内容で構成され、障害の有無に関わらず、関心のある人であれば誰でも受講できる。受講登録は必要だが、参加費は無料。全講座の2/3以上の参加者へ修了証を渡している。
- ・ 精神的な困難を抱えるピア講師と専門職講師とが、水平な関係性のもと、講座の企画、運営、実施、ふりかえりを行う(共同創造)。
- ・ 定期講座を年に2回開講し、各8コマ程度の演習形式でのカレッジを開講。そのほか、1日のみの特別講座を2回ほど開催している。



2023年度実績

- ・ 7/8(土)リカバリーカレッジ高知「体験会」(参加者33名)
- ・ 7/9(日)第一回連携協議会(参加者17名)
- ・ 8/5(土)~9/2(土)夏講座(修了者20名/登録者22名)
- ・ 10/15(日)秋の特別講座(参加者15名)
- ・ 12/2(土)~12/23(土)冬講座(修了者20名/登録者22名)
- ・ 1/19(金)第二回連携協議会(参加者10名)
- ・ 2/18(日)リカバリーカレッジ高知in中土佐町 feat.つどい処(参加者11名)(初の出張カレッジ)
- ・ 2/24(土)リカバリーカレッジ文化祭@名古屋(全国のリカバリーカレッジが集結したオープンカレッジ)

定期講座の例

リカバリー入門、わたしたちの共同創造を考えよう 防災ワークショップ、誰かのために経験を話す、薬のはなし 精神科医と築く気づきのあれこれ、いかんともしがたい私の感情、こころの不思議 受容ってなんだ?、元気回復行動プラン (Wellness Recovery Action Plan : WRAP)



事業終了後の目指す方向性

大学や地域において事業継続し、高知型地域共生社会に向けて、以下の取り組みを行う。

- ・ 障害のある人もない人も、生きづらさや思いについて安心して話せてつながれる場
- ・ メンタルヘルスやリカバリーについて、主体的に学べる場
- ・ 精神的な困難を抱える「わたしたち」の経験を、地域計画へ活かす場(例:防災、等)
- ・ 様々な社会資源とコラボレーションし、地域のハブとして機能する場
- ・ 共同創造を通して、共生に必要な視点を発信する場

その他

定期講座等、活動の詳細については、リカバリーカレッジ高知のWebページやFacebook等のSNSをご覧ください。HPやSNSの情報は→のLinktreeに掲載しています。ぜひご覧ください。

リカバリーカレッジ高知 Linktree https://linktr.ee/rc_kochi



Linktree